

えかぶお

49号

2018年

平成30年4月20日発行



▶ 毎年8月、この時期に「盆踊り花火大会」を行っています。利用者様にとって楽しみにしている年中行事の一つです。浴衣姿の職員とともに、笑顔がとても素敵な利用者様です。

社会福祉法人 小樽育成院 運営理念

基本的人権の確保と擁護

～人間を大切にするサービスの提供～

利用者の自立した生活を支援するためのサービスを提供します。

利用者の生活と生き方を尊重したサービスを提供します。

利用者中心のサービスを提供します。



発行／ 社会福祉法人 小樽育成院

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号

TEL: (0134) 28-2500 (代) FAX: (0134) 26-2476

URL: <http://www.otaru-ikuseiin.com>

育成院

検索

社会福祉法人小樽育成院 平成30年度事業計画について

法人として、基本方針の事業計画を示すことにより、各施設や事業所が、事業の計画を立て、事業運営に取り組むこととなります。

基本方針

●社会福祉法人の社会福祉法の改正に伴い、規程の変更や組織体制の見直しなど社会福祉法人制度改革への適切な対応を進め、今年度は法人運営を更に強化します。

●本年は法人創立から120年の節目の年です。当法人の歩みや活動を市民・関係者の方々へ報告する記念事業を開催します。社会福祉法人は、地域が必要とする役割を果たし、規律ある透明性の高い運営に努め、地域から信頼されるため、左記の4項目を重点目標として取り組みます。

法人運営の取り組み

◆外部会計事務所の活用による会計基準等に基づいた適正な会計処理と各種法令・規程を遵守した内部統制の確立。

◆ガバナンス（組織統治）とコンプライアンス（法令遵守）確立のため、法人本部の役割の明確化と機能強化等の見直しなど効率的な運営による財務基盤の確立。

サービスの質向上への取り組み

◆法人及び各施設・事業所の研修体制の実施により、基本理念である「人権の確保と擁護」の浸透を図り、安心・安全なサービス提供の推進。

◆虐待や不当な身体拘束、感染症の集団感染予防に取り組み、サービスの質の向上。

人材の確保と育成に向けての取り組み

◆待遇改善と体系的な人材育成システムを目的に再構築した人事考課制度と給与制度を導入し、働きやすくなりがいのある職場環境による職員の定着。

◆福祉人材の確保のため、様々な採用広報の活用に加え、新たな採用方法の検討や修学資金貸付制度の導入。

◆各種実習生や施設見学の受け入れ等も積極的に取り組み、福祉の仕事の啓発。

地域との信頼と協力を得るための取り組み

◆事業運営の各種情報媒体による積極的な情報発信に努め、運営の透明性を向上。

◆地域における公益的な活動の取り組みについては、市内の社会福祉法人の連携により地域の福祉課題に取り組むため、昨年度発足した「しあわせネットワーク・おたる」の事務局法人の一つとして中心的役割を果たす。

◆従来から実施している町会との協働による公益的な活動の充実。

特別養護老人ホーム やすらぎ荘

小樽市オタモイ1丁目20番18号
TEL(0134)281-2500
FAX(0134)261-2476

やすらぎ荘は、概ね65歳以上の要介護度3以上の方や在宅生活が一時的に困難な方を対象とした生活施設です。住環境は、ユニットと呼ばれる10名前後の利用者様が、家庭的な雰囲気の中で自由にお過ごしになれるようになっています。お部屋は全て個室で、今までの「暮らしの継続」が出来るように利用者様の生活状態を把握するための24時間シートを活用し、生活をサポートしています。ユニット内には専属のスタッフが配置されている為、「馴染み（なじみ）」の関係が出来やすく、一人ひとりに深く関わるケアが提供出来ています。

利用者様は、二期会や学生ボランティアの方々の協力を得て、行事等に参加されていますが、さらなる「豊かな暮らし」を育むため地域や社会の風をもっと感じてもらうような取り組みに着手していきます。



出前寿司でご家族・職員一緒に食事



ボランティアさんと一緒に芋ほり

オタモイ デイサービスセンター

小樽市オタモイ1丁目20番19号
TEL(0134)261-1116
FAX(0134)261-1129

オタモイデイサービスセンターは、その人らしく在宅生活を継続してもらえるように、自宅での生活スタイルとしたプログラムで、一人ひとりに合ったケアの充実を目指したサービスを展開していきます。

昨年11月に「利用者様満足度アンケート」調査を実施し、スタッフの接遇やコミュニケーション、食事及び入浴の内容等についてお聞きしました。回答から「満足」が65%、「ほぼ満足」が27.6%、「どちらともいえない」が4.6%、「やや満足」が1.4%、「不満」が1.4%となっています。「満足」と「ほぼ満足」で9割以上となっています。

アンケートの自由記載の中に、「職員の声掛けが低く聞こえづらい」等の意見が数件ありましたので、職員間で課題を共有し改善に取り組めます。



野外昼食会でのジンギスカン



毛糸と折り紙で赤鬼作り

養護老人ホーム 小樽育成院

小樽市オタモイ1丁目20番20号
TEL(0134)261-0162
FAX(0134)261-2874

養護小樽育成院では年々要介護者が増加し、介護ニーズが高まっているのが現状ですが、利用者様の方々が安心して自立支援に向けたサービスを受けられるよう、職員の介護技術の向上とともに、身体への負担軽減に努めるため、福祉機器導入への調査研究を積極的にすすめています。昨年からは、移乗介助における介護職員の腰痛予防対策として、介護者の身体に装着する商品や介護リフトのデモンストレーション研修を実施し、使用時の注意点を職員間で共有するとともに、介護リフトについては、色々なタイプのもを実際に試しながら検証を重ねたうえで新年度から導入する計画としています。

新年度には、こうした機器を活用しながら、利用者様の自立支援・重度化予防の取り組みを推進するとともに、今後も幅広く介護ロボット等の情報収集と研究に努めていきます。



介護リフト使用で安全確認



腰痛予防対策として身体に装着用具

オタモイケアプランセンター

小樽市オタモイ1丁目20番18号(やすらぎ荘内)
フリーダイヤル0120-514-2994
FAX(0134)261-0894

オタモイケアプランセンターは、利用者様が住み慣れた地域でサービス利用に係る納得した選択をできること、役割を見出して自立し、その人らしく生活できるようサポートを継続してきました。ご家族にも心を配り、介護負担の軽減に努めていきます。

この4月の介護保険制度の改正では利用者様が安心して生活できるように情報収集に努め、各関係機関との連携を図り、事業所展開を進めていきます。

小樽市西北部地域包括支援センター

小樽市オタモイ1丁目20番18号(やすらぎ荘内)
TEL(0134)281-2522
FAX(0134)281-2523

オタモイ地区で、平成30年5月から特別養護老人ホームやすらぎ荘内のわいわい広場において「シニア元気教室」が始まります。

毎月第一、二、三水曜日に10時30分から12時まで、介護予防体操とレクリエーションを皆さんと一緒に楽しく実施します。月額三〇〇円（初回のみスポーツ保険料年額一、二〇〇円）、運動に支障のない原則65歳以上の方、どなたでも参加いただけます。

お問い合わせは、当支援センターまでご連絡ください。

オタモイ デイサービスセンター



◆収支の改善及び経営の安定

収支の改善として、介護保険改正に伴うサービス提供時間の延長や提供プログラムを充実し、稼働率の向上やあらたな加算の算定により、収入を確保し、経費の水道光熱費や事務用品などの効率的な使用等により収支バランスの安定を図ります。

◆自立支援に向けたプログラム活動の充実とシステム作り

利用者様一人ひとりが、プログラム活動に参加しやすい体制を整備し、楽しみや達成感が得られる環境とシステム作りを行い、受動的プログラムから能動的プログラムへと転換を図り、季節の行事に合わせたアクティビティ等の企画・提供を行います。

◆スタッフの資質向上と組織力の強化

個人の研修目標を設定し、研修に積極的に参加し知識及び、技術の習得に努め、各職種の役割を明確化し、業務分掌の再構築を行います。

◆地域・ボランティアへの情報提供と連携の強化

地域密着型通所介護として、6ヶ月に1度「運営推進会議」を実施し、サービスの質の確保を図り、地域のボランティアの積極的な受入れなど、地域福祉に貢献していきます。

オタモイ ケアプランセンター



◆法令順守と安定した利用者数の確保

新規ケースを積極的に受け入れることで収入の安定を図り、小樽市西北部地域での人口減少に伴う取扱い件数の減少に対応した事業の展開を検討します。

◆サービス満足度の向上

事業所内ミーティングを毎週1回実施し、業務上の改善点や利用者様の情報を共有し、担当ケアマネジャーが不在時でも対応できるように事業所全体で居宅依頼ケースへの対応に努めます。

◆本人・家族及び関係機関との連携の強化

利用者様の入退院時や末期悪性腫瘍に対しては医療機関と総合的に連携を図り、医療・介護保険サービスがスムーズに行えるように努めます。

◆介護支援専門員の資質・専門性の向上・後進の育成

現状の業務における困難事例の検討会を月1回実施し、支援困難者への対応力向上を図ります。

小樽市西北部 地域包括支援センター



◆総合相談支援業務

常にワンストップを意識しながら関係機関と協働できるような体制を構築するとともに、生活支援体制整備事業で集約したインフォーマルな資源も生かしていくような支援方法を検討していきます。

◆権利擁護業務

対応件数は増減があるものの、支援制度のはざまにあるような支援困難ケースが増え、対応期間が長くなってきていることから、迅速な対応と緊急性を見極めに重点を置き、職種違いの二人体制で解決ができるよう努めます。

◆包括的・継続的ケアマネジメント業務

変化に合わせたケアマネジメントを心がけ、インフォーマルな面にも改めて目を向けていくとともに、各地域包括支援センターでの、ケアマネジャー支援の一環としての事例検討会の取り組みも継続します。

◆介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント業務

新規の地域版介護予防教室をオタモイ地区で立ち上げ、既存の教室については、年間を通して全教室を3回ずつ出前講座など実施し、介護予防サポーターからの相談やレクリエーションの企画等に携わりながらフォローします。

新年度予算の各施設・事業所の 主な事業の取り組みについて

社会福祉法人小樽育成院の各施設事業所ごとに平成30年度事業計画書を作成し、事業運営を行ううえでの重点目標をご紹介します。当法人の基本的な方針については、前ページでお知らせしましたので、ここでは、各施設等の事業運営がどのような目標で進められているかを要約しています。利用者様はじめご家族の方々にもご覧いただき、当法人への事業運営にご理解とご協力を頂ければ幸いです。

養護老人ホーム 小樽育成院



◆経営の安定・充実強化

利用者様の重度化に対応するために特定施設フロアーの整備や人材を確保することで、特定施設の稼働率を引き上げ、各種加算算定項目に見合った職員等体制整備も視野に収入の確保に努めます。

◆施設整備と自立支援等

利用者様の安心・安全な生活環境を提供するため、設備機器等の更新や屋上防水工事等の大規模改修に着手します。
また、自立支援・重度化予防を推進するため、ケアプランなどの充実強化に努め、介護リフトの導入を図るとともに、見守りセンサー等の研究調査を進めます。

◆人材確保と育成及び働きやすい職場づくり

法人本部と連携し、職員の定着化のため、職場内研修等の研修プログラムを整備するとともに、職員体制の指導等の充実強化等に努めます。

◆地域連携及びボランティア活動や情報発信

土砂崩れ等の防災や防犯対策のため、地域連携のあり方についての非常災害対策計画等の検討を進めます。
引き続き、ボランティア活動の意見交換会を実施し、新規ボランティアの促進に取り組むとともに、ホームページ等で施設の情報発信に努めます。

特別養護老人ホーム やすらぎ荘



◆理念の浸透

研修等を通じ、当法人の運営理念「基本的人権の確保と擁護」の浸透を図り、ユニットケアの手法を活かし、「安心して住みよい施設」を目指します。

◆内部機能の見直しとサービス実践

人手不足の中、様々な手法のアプローチを駆使しながら多職種連携や各種委員会等機能の見直しや強化を図りながら、効率的な運営を行いサービス実践に繋がります。

◆人材の確保・育成・定着

法人本部と連携し、高校生や養成校などへの積極的働きかけなどを通じ人材確保をするとともに、研修委員会を中心に育成システムを再検討し、衛生委員会を中心に定着に向けての環境醸成を進めます。

◆安定した収入の確保

入院や退去による空床期間の短縮化を図るために、入院者や新入居者の動向や意向を詳細にリサーチし早めの入居準備を心がけ、短期入所では、通常利用に加えミドルやロング利用を確保していきます。さらに、介護報酬に係る加算算定項目も検討しながら安定した収入の確保に努めます。

◆地域連携

当法人の事業展開や様々な活動を通じて地域ニーズを把握し、併設事業所の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、通所介護事業所及び町会等と連携して、「地域の核となる施設」としての役割を担うと同時に、地域向けの情報発信も積極的に行います。

平成30年度社会福祉法人小樽育成院 資金収支予算額内訳

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	法人本部	養護(拠点)	小樽育成院		特養(拠点)	特別養護老人ホームやすらぎ荘(拠点)				地域包括支援	内部取引 消去	法人合計
			措置施設	特定施設		福祉施設	短期入所	デイサービス	ケアプラン			
介護保険事業収入		211,230		211,230	584,300	472,600	51,300	36,700	23,700	51,200		846,730
老人福祉事業収入		309,340	309,340									309,340
障害福祉サービス等事業収入					400			400				400
その他の事業収入												
経常経費寄附金収入		50	50									50
受取利息配当金収入		10	10									10
その他の収入		1,880	1,880		2,500	2,500						4,380
事業活動収入計		522,510	311,280	211,230	587,200	475,100	51,300	37,100	23,700	51,200		1,160,910
人件費支出	2,000	280,430	164,810	115,620	354,550	272,600	40,900	23,700	17,350	41,100		678,080
事業費支出	500	127,035	105,325	21,710	77,560	59,850	8,900	7,610	1,200	1,550		206,645
事務費支出	8,050	70,425	41,545	28,880	106,600	83,000	12,650	7,050	3,900	6,700		191,775
利用者負担軽減額					4,450	4,200	200	50				4,450
支払利息支出					1,800	1,800						1,800
その他の支出		980	580	400	1,200	1,200						2,180
事業活動支出計	10,550	478,870	312,260	166,610	546,160	422,650	62,650	38,410	22,450	49,350		1,084,930
事業活動資金収支差額	△ 10,550	43,640	△ 980	44,620	41,040	52,450	△ 11,350	△ 1,310	1,250	1,850		75,980
施設整備等補助金収入												
施設整備等寄附金収入												
設備資金借入金収入												
固定資産売却収入												
その他の施設整備等による収入												
施設整備等収入計												
設備資金借入金元金償還支出					21,600	21,600						21,600
固定資産取得支出		34,408	34,408		500	500						34,908
固定資産除却・廃棄支出												
その他の施設整備等による支出												
施設整備等支出計		34,408	34,408		22,100	22,100						56,508
施設整備等資金収支差額		△ 34,408	△ 34,408		△ 22,100	△ 22,100						△ 56,508
積立資産取崩収入		30,000	30,000									30,000
拠点区分間長期貸付金回収収入	5,000										△ 5,000	
拠点区分間繰入金収入												
サービス区分間繰入金収入												
その他の活動による収入		220	220									220
その他の活動収入計	5,000	30,220	30,220								△ 5,000	30,220
積立資産支出		20,000	20,000									20,000
投資有価証券取得支出												
拠点区分間長期借入金返済支出					5,000	5,000					△ 5,000	
拠点区分間繰入金支出												
その他の活動による支出		4,800	4,800									4,800
その他の活動支出計		24,800	24,800		5,000	5,000					△ 5,000	24,800
その他の活動収支差額	5,000	5,420	5,420		△ 5,000	△ 5,000						5,420
予備費支出		3,000	1,500	1,500	5,500	3,000	1,000	1,000	500	500		9,000
当期資金収支差額	△ 5,550	11,652	△ 31,468	43,120	8,440	22,350	△ 12,350	△ 2,310	750	1,350		15,892
前期末支払資金残額	22,917	182,056	25,667	156,389	171,678	181,838	△ 40,020	5,276	24,584	7,922		384,573
当期末支払資金残額	17,367	193,708	△ 5,801	199,509	180,118	204,188	△ 52,370	2,966	25,334	9,272		400,465

※社会福祉法人の会計基準による予算書は、資金収支に関する予算書となっています。従って、民間会社での損益計算を表すものは、決算の事業活動計算書にて、決算時においてお知らせします。

※地域包括支援に係る予算は、小樽市の委託事業による公益事業となっています。

当法人では、ホームページ(<http://www.otaru-ikuseiin.com>)にて情報公開を行っております。

育成院 検索 で、詳細な財務諸表もご覧いただけます。

私たちは日本財団「夢の貯金箱」を応援しています。
当施設でも「1本で10円の寄付ができる自販機」を設置しています。



4月	【小樽育成院】喫茶「えがお」(毎月) ハーモニカセラピー(毎月) 【やすらぎ荘】歌・花サークル、 茶話会(毎月) 【デ イ】音楽セラピー、絵画サークル、 和紙工芸(毎月) 【地域包括】事業所向け広報紙 「ニコリティ」 4月、7月、12月発行	 	10月	【法人本部】育成院神社祭 法人町会合同防災訓練 【小樽育成院】コース幼稚園来訪 【やすらぎ荘】中央幼稚園来訪 【デ イ】秋のドライブ 【地域包括】介護予防フェア(ウイングベイ小樽)	 
5月	【法人本部】理事会 【小樽育成院】リズム体操教室 (毎週火曜日) 花まつり 【デ イ】春のドライブ 【地域包括】シニア元気教室 (毎月2回) 地域向け広報紙 「にこりてい」5月、8月、1月発行		11月	【法人本部】理事会 介護相談フェア 【小樽育成院】長橋幼稚園来訪 【地域包括】虐待防止ネットワーク会議	
6月	【法人本部】定時評議員会・ オタモイ唐門まつり 【小樽育成院】パークゴルフ始球式		12月	【各事業所】クリスマス会 【やすらぎ荘・デイ】餅つき	
7月	【小樽育成院】管内利用者交流パークゴルフ大会 育成院運動会 ジンギスカン昼食 【デ イ】野外昼食会(鮭のチャンチャン焼き) 【地域包括】包括支援センター運営協議会		1月	【各事業所】新年交礼会 【小樽育成院】獅子舞、 かるた会、 初釜、鏡開き 【やすらぎ荘】獅子舞、初釜 【デ イ】新年会	
8月	【法人本部】慰霊祭、地藏尊祭、 オタモイ盆踊り・花火大会(町会と共催) 【小樽育成院】七夕飾り 【やすらぎ荘】中庭昼食会	 	2月	【小樽育成院・やすらぎ荘】節分、雪あかりの路、夜間想定防災訓練 【デ イ】お鍋の会 【地域包括】高齢者見守りネットワーク会議 包括支援センター運営協議会	 
9月	【法人本部】小樽潮太鼓演奏 苦情相談・ 虐待防止委員会 蘭越育成神社例大祭 【小樽育成院】各クラブ合同発表会 敬老の日行事 【やすらぎ荘】敬老の日行事 【デ イ】敬老の日行事	 	3月	【法人本部】理事会 【小樽育成院】雑祭り・お茶会 【やすらぎ荘】生寿司 【デ イ】雑祭り 【地域包括】SOSネットワーク会議	 

【小樽育成院】…養護老人ホーム 【やすらぎ荘】…特別養護老人ホーム 【デイ】…オタモイデイサービスセンター 【地域包括】…北西部地域包括センター

平成30年度

社会福祉法人小樽育成院のおもな年間行事予定

※本文の行事を写真で掲載し、
昨年度のものを使用しています。

社会福祉法人小樽育成院

創立120周年を迎えて

～7月7日(土)記念講演と上映会を開催～

社会福祉法人小樽育成院は今年6月で創立120年目を迎えます。当法人は明治31年に小樽孤児院として救済活動を開始したことから今日に至りますが、120年という節目の年に、所蔵している明治創立期以降の義捐簿や写真等の貴重な資料を末永く後世に残すため、



創立者 中島武兵



明治45年奥沢時代の小樽育成院

小樽市総合博物館の協力を得ながら2年の歳月を経て資料の電子化等に取り組みだ。完成した資料からは先達の偉業や功績を改めて知見することができ、当法

人が先人の大変なご苦労と努力により今日があると感謝を新たにしました。この資料については、今後、ホームページで公開できるようリンクして行きたいと思っています。

また、創立100周年記念誌に引き続き、120周年記念誌も発行しますが、当法人の資料を調査した経過から見えて来る当時の様子を、博物館が所蔵する資料等と重ねながら育成院のあゆみと小樽の時代背景を切り口にして博物館の山本学芸員がまとめた文章が掲載されています。是非、利用者様やご家族等はじめ福祉関係者等の方々に一読していただければ幸いに思います。さらに、来る7月7日(土)午後1



総合博物館運河館前にて協力頂いた石川館長と山本学芸員です



時から小樽マリンホールにおいて小樽市総合博物館が「小樽経済と福祉」を切り口にした調査成果を『育成院のあゆみから見た小樽(仮称)』と題して、NHK「プラタモリ」に出演された小樽市総合博物館館長の石川直章様の記念講演と、新人介護士が介護という仕事に誇りと情熱を持ち働くことの意義や地域とのつながりの尊さを描いた『ケアニン』の上映(無料)を予定しています。チラシ等でお知らせしていきますので、是非、沢山のご来場をお待ちしています。問合せは、法人本部 2812500 早川まで。

編集後記

内地での春の訪れを聞くことが多くなった今日この頃ですが、北海道の本格的な春にはあともう少し時間がかかりそうですね。長い冬があつたからこそ、北海道の人々は春を心から喜んで楽しむことができるのだと思います。

先日、読み終えた本に「信頼残高」と言う言葉がでてきました。上手く表現できるかわかりませんが、「信頼」とは貯蓄していくもので、「信頼」を引き出した後は必ず貯蓄するための努力を続けると言うことです。①相手を理解する②小さなことを大切に③約束を守る④期待を明確にする⑤誠実さを示す⑥引き出した時は誠意をもって謝る。残高を減らさないための努力。とても当たり前のことなのに、親しさからの甘えてそれを蔑ろにしてきたことが多かったなど反省しました。

利用者様やそのご家族、そして一緒に働くスタッフに許して頂きながら、もう一度「信頼残高」を蓄えていく今年度としたいと願っています。本当の「通帳残高」も少しは増えたら良いな…(笑)

(A・Tのこぶやき)